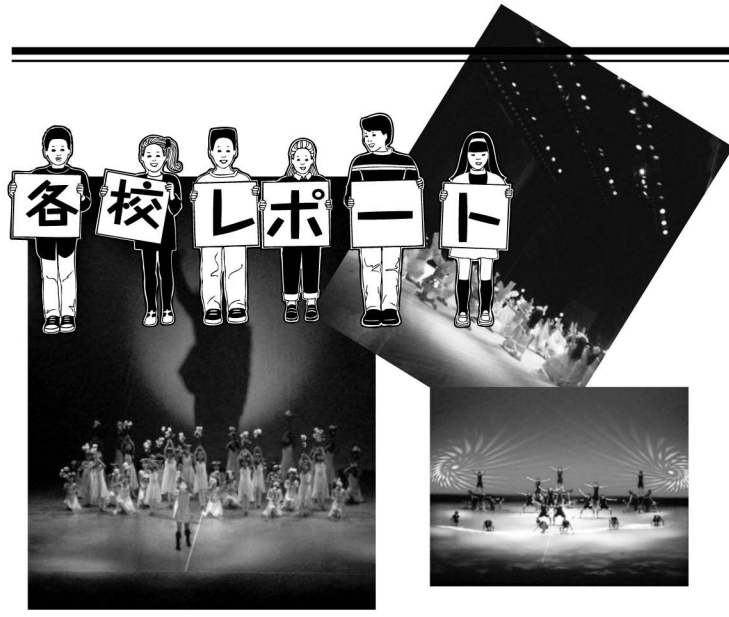


# 武蔵野東学園 連合後援会だより



**こんにちは!**

本年お子様が卒業を迎えられる保護者の皆さん、ご卒業おめでとうございます。お子様は希望に胸を膨らませて、それぞれの新しい道を進み始めるのですね。保護者の皆様もこれからは東学園の素敵なサポーターでいてください。だって保護者には卒業はありませんから…。それでは、今年度の最終号をお届けいたします。(O)



## 幼稚園発表会

発表会の朝、「いよいよだね。」という娘の言葉。私自身は年長の発表会が、「いよいよきた!」それぞれの思いを胸に会場へ向かいました。発表会は始まってしまつたら、あっという間の時間。でも、その一つ一つは子供たちがこの日を迎えるまでに積み上げてきた時間とそれを支えてくださった先生方の力の集大成が伝わる感動の舞台でした。子ども達の「ありがとう」の歌声や三年間を通じて出会ったお友達や先生方の姿を見ながら、こちらこそ沢山の感動を「ありがとう」と感謝の気持ちを込めて、拍手を送り続けた幸せな時間でした。(年長K)

## 小学校発表会

「あー、もう終わっちゃった」府中からの帰路、1年生の息子の残念そうな声。冬休みも一生懸命練習したバランスボード。5本指で弾くことを目指した鍵盤ハーモニカ。大舞台上で堂々と披露する姿を見て、緩やかな階段を一步一步踏みしめて成長してきたことを思い返しました。通っていたキリスト教系幼稚園のクリスマス祝会。舞台上で走り回った1年目、立ち位置を間違え状況認識できなかった2年目、羊飼いの役を真剣に演じた3年目。そして東小学校に入学してからは仲間を思う強い気持ち、一生懸命やることで得られる自信。これらすべての積み重ねが発表会に繋がったと思います。また根気よく指導して頂いた先生方に心から感謝いたします。(小1K)

## 中学校発表会

初めての発表会、その当日。今までの練習の成果を楽しみながら観に行きました。本物の舞台、照明、音響の中で、どの演技、演奏も想像以上に素晴らしくとても感動しました。本番、舞台の上の息子は大きく見え、また一回り成長した姿を見ることができて嬉しかったです。発表会の帰りにはずべて出し切れた充実感で、朝の表情とはまったく違っていました。このような貴重な経験をさせていただいて、感謝と共に東中に入学できたことを改めて幸せに感じております。来年はまたどんな姿をみせてくれるか楽しみです。(中1S)

## 高等専修学校

武蔵野東技能高等専修学校で教鞭をとり、日本有数のライフセーバーの顔を持つ北矢宗志先生の教師像に迫る一冊です。ライターの大元氏の文章を通じ、北矢先生の強い使命感を持ち日々格闘する姿に感激いたしました。本を読み進めるうちに、東学園の一保護者としての目線から、社会に生きる同志として強く共感していきました。後半にでてくる「夢を追う意味」…、我々大人の生き方が大切ですね。ぜひ、本を手にとりお読みください。また、この本に登場される北矢先生をはじめ、東学園には各園校に素敵な先生やスタッフが多くいらっしゃいます。我々後援会会員全員で、全力で東学園を盛り立てていきましょう!!! (O)

好評発売中

武蔵野東技能高等専修学校教師・  
ライフセーバー  
**北矢宗志の奮戦記**  
**命のバトン**  
——自閉症児と個性派不登校児の教室  
大元よしき 著

四六判並製、176頁  
定価：1,260円(本体1,200円+税)  
2011年2月21日発売  
発行 株式会社 ウェッジ



## 継ぐ未来ここから

私たちは、武蔵野東幼稚園に子どもが入園してから、後援会活動で知り合う事が出来ました。同じ歳の子も持つ母親として、活動を通してはもちろん、お互い様々な感動を共有してきました。そして、武蔵野東幼稚園に通う子ども達のために、先生方に見守っていただきながら一緒に活動してきた五役の仲間、役員の皆様、保護者の皆様と過ごしてきた時間は、本当に素敵な思い出となりました。卒園準備は今、最終段階に入っています。子どもたちの門出に向けて準備を進めています。卒園後、共に頑張ってきた事が思い出にかわるまで時間はかかるかもしれませんが、あの時は楽しかった!とお互い語り合える日を楽しみにしています。お世話になりました先生方、保護者の皆様本当にありがとうございました。

幼稚園後援会 副会長 ・内田 千恵 ・大野 忍

## 確かな命のバトン

長男の小学校入学と長女の幼稚園入園の同時スタートで始まった東学園生活にも、この春二人の大学、高校入学をもってピリオドが打たれます。笑顔と涙と思い出がつまった12年間…子ども達は体も心もたくましく成長し、親の私たちは少々歳を取りました。しかし、それは確かな命のバトン。東の先生方から教わったたくさんの事、仲間との学園生活で得た貴重な経験を礎に新たな世界に漕ぎ出して行くことでしょう。『考えて 自分でできる子になろう』小学校校歌のこの言葉をかみしめて、真の東っ子であり続けて欲しい!

先生方、保護者の皆様、長い間本当にお世話になりました。白靴下を洗い続けてつるつるに磨り減った洗濯板は私の勳章!私も親の第一章を卒業します。

中学校後援会 副会長 ・阿比留 留美子

# 継いでいくものの

## 沢山の思い出

6年前、父の手にぶら下がるようにして登校していた息子のその手は、小学校で多くの友人と手を携えて、様々な活動や行事に参加するうちに、母の手と同じ位の大きさに成長しました。

保護者の方々の惜しみないお力添えと、見守って下さる先生方のお心遣いによって、支え合い繋がっていく後援会活動に、私も参加させて頂いて、多くの体験と共に、子ども達の成長を見守る幸せな時間を頂きました。

子ども達の手の中に握られた沢山の思い出が、更なる成長への原動力になる事を願いつつ、人が手を携える素晴らしさを学ばせて頂いた後援会活動に感謝しつつ、親子共に新たな一歩を踏み出してまいります。ありがとうございました。

小学校後援会 副会長 ・瀧澤 浩美

## 卒業にあたって

中学からお世話になった東学園は、先生と生徒と保護者の距離がとても近くひとつの大きな家族のようにあたたかい学校で、息子は整った教育環境のもと、先生方に見守られ、またたくさんのお友達に恵まれて成長できました。私自身も高専では思いがけず五役という立場で後援会活動に関わり多くの貴重な経験をさせていただきました。特に学年を越えてたくさんの方と知り合うことができたことは私にとってかけがえのない財産になりました。先生方、また後援会活動にご協力下さった保護者の皆様、ありがとうございました。東学園の今後益々のご発展を願っております。

高等専修学校後援会 副会長 ・鈴木 葉子

**むらさき会より  
今年度を振り返って**

今年度、むらさき会では大きな節目となる活動が二つありました。一つは第20回むらさき連合親子運動会開催、もう一つは会報50号の発刊です。

運動会では、20回を記念して「東の先生はこんなにスゴイ!」という企画を先生方が考えて下さり、会報では、理事長先生、各園校の校長先生、むらさき担当の先生方からコメントを頂きました。皆様の保存版になった事と思います。

来年度も先生方、会員の皆様と一緒に、役員一同楽しく活動していきたいです。今度は是非、文科系先生方の「東の先生はこんなにスゴイ!」が観られますよう、先生方、企画を宜しくお願い致します。

高専むらさき代表 ・黒澤 牧子

●編集後記  
皆さん、今号はいかがでしたか? 卒業を迎えられる保護者の方々の想いを中心に紙面を構成いたしました。東学園は、子ども達だけでなく我々保護者も、先生方や仲間の皆さん、そして子ども達から多くのことを学べる学校だと改めて感じています。

そして、たくましく育った子ども達はまぶしいですが、我々保護者もまだまだ負けははられないですね。これからも、子ども達と大いに張り合っていきたいと思います!!!

最後に、今年も一年間「連合後援会だより」をお読みいただきありがとうございました。(O)

●編集委員会 (編集スタッフ)

高等専修 中学校	高田 尚美	小澤 恵美子
小学校	金子 マサ子	野内 陽子
幼稚園	平川 真弓	高橋 章子
	野上 かおり	天野 英理
高等専修 中学校	桑原 厚	齊藤 良
	大槻 敬	
小学校	家住 隆士	
	青柳 博行	

**2011  
Vol.4**

**武蔵野東学園  
連合後援会だより**

最近「イクメン」という言葉をよく耳にします。厚生労働省によると、「子育てを楽しむ、自分自身も成長する男性のこと」と定義されています。自分をイクメンだと評することはおこがましいですが、振り返ってみると、この3年間多くのことを学びました。発表会といった場面での子ども達の真剣な表情、充実感とともに見せる笑顔やポーズ、その合間に見えるお友達を想う気持ち、純粹だからこそ見ていて清々しく感動を与えてくれました。「すなおなこころ」はご存知の通り園訓の一つですが、大人になるとともに失ってきた、人として大切なものを、思い出させてくれる場面が数多くありました。また、子ども達に溢れる愛情で真摯に接してくれた先生方のご対応に感動を覚えるとともに、後援会活動を通じて接してきた各保護者の熱心さには多くの刺激を頂きました。お父さん方の集まりであるLET'Sでは、子ども達とともに楽しむ行事を通じて保護者間の交流を進めましたが、ご賛同頂いた多くの仲間のお力添えがあってこそのものでした。この場を借りてご協力頂いた皆さんに御礼申し上げます。また、園まつりや卒業、各サークル活動においては、お母さん方を中心にしっかりと運営して頂き、本当に感謝しています。卒業後も子ども達はこの思い出の詰まった幼稚園を忘れることはないでしょう。この大切な幼稚園を、今後は卒業生の保護者という立場で、陰ながら応援していきたいと思えます。

幼稚園後援会会長  
大野浩司

「やっと卒業します!」

私事ではありますが、一昨年私共夫婦は銀婚式を迎え、その長い歳月の中、二十一年という時間を東学園の保護者として過ごしてきました。

夫婦としての歩み、親としての歩みのすべての指標が、支えが東の教育方針であり多くの先生方、保護者の方々との出会いでした。

卒業を前に思うのは、時代の流れの中で、変わりゆくべきもの、変わってはいけないものがあり、変わってはいけないものを守り続けて行くことが伝統を築くことであり、東の伝統を守っていくことが私達保護者であるということです。

そのために「縁の下の力持ち」とキヨ先生が位置付けられたのが後援会であると会長のお役をいただいてから折に触れ皆様に伝えて参りました。

これからも他の私学に無い東らしい伝統を築いていくために保護者の皆様の後援会活動への協力をお願いします。

今後は学園の発展と東っ子の成長を陰ながら応援させていただきます。長い間大変お世話になり心から感謝申し上げます。

中学校後援会会長  
岩崎充利

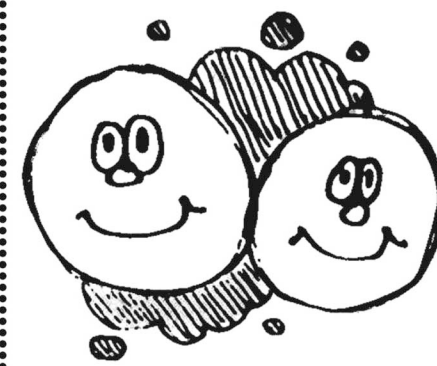
息子の卒業後の進路が、やっと先日決まりました。そして、あと何日かで卒業式を迎えることとなりました。考えてみれば、息子が東中に入学してから6年、私が高専の後援会長を御引受けして2年、本当にあっという間の歳月でした。会長就任当初、自分らしく自然な形でやろうと思っていましたが、返って諸先輩方の様にはいかず周りのみなさまにご迷惑をお掛けする結果となってしまい申し訳なく思っております。それに付け、周りのみなさんの献身的な活動に救われ、そして私自身感動し、みなさんには心より感謝しております。

それは、みなさまの我が子に対する思いであり、学園に対する思いであると思えます。

学園も創立50周年を間近に控え益々子ども達にとって良い学園であり続けて欲しいと思います。私も微力ながら応援し続けたいと思っています。みなさん、本当にありがとうございました。

高等専修学校後援会会長  
佐竹秀克

# 後援会活動を振り返って



## むらさき連合保護者新年会

平成23年1月22日、むらさき連合保護者新年会が小学校体育館で開催されました。

参加人数465名と新記録を達成!?!しました。幼稚園から高等専修学校の先生方、そしてOBの方も含む保護者が体育館とアリーナに所狭しと集いました。担任や専科の先生方

から日々の子どもの様子を伺い、親同士で子どものネタで笑い、共感して会場は熱気で溢れました。今後もむらさき会の保護者の楽しく、有意義な場で有り続けるように、会場に入りきれなくなる日も近いかも・・・と心配しつつ執行部一同頑張ります!(高2Y)

## むらさきOB会クリスマス会

卒業生の皆さんが一番楽しみにしているのは、恒例の『クリスマス会』です。2010年12月4日(土)、高等専修学校地下講堂で午後5時から7時まで開催されました。1期から22期までの卒業生123名、先生方40名、保護者47名、計210名が集い、卒業生達は久しぶりに会う先生方や友人との会食を楽しんでいま

した。新任の先生方のパフォーマンスで笑顔になった後は、全員に当たるくじ引きクリスマスプレゼント大会が行なわれ、大小様々な包みを抱えて皆さんとても嬉しそうでした。学園歌の大合唱を終え、来年の再会を誓って散会となりました。

むらさきOB会幹事 横川ミカ



# 歓迎

## ウェルカムパーティレポート

2月10日、姉妹校のボストン東校を招き、後援会主催によるウェルカムパーティーを行いました。本年は、理事長のガーランドご夫妻をはじめ、先生、保護者の総勢9名が来日されました。ここ数年、パーティー会場は友愛ショップ。今城先生の腕によりをかけた食事を堪能し、和やかに会は進んでいきます。日本とアメリカ、遠く離れていても同じ保護者同

士、子どもの将来を想う気持ちは一緒です。先生方の子供達に対する深い愛情も大いに感じられます。東の精神がアメリカでも根付いていると感じることのできる素敵なお会でした。そして、、個人的に毎回反省することは、英語力・・・。「来年こそは英語で挨拶を!!」とまたもや宣言してしまっただけです。(中2O)

## ボストン研修を終えてその後のわが子のこと

今の自分を「変えたい」と臨んだボストン研修。ボストン東で関わって頂いた皆さま方や研修前後の先生方のご指導の結果、先日の授業参観ではパフォーマンスたっぷりの報告をすることが出来ました。保護者の方々からも以前とは全然違ったねと驚きの声をか

けていただき、嬉しかったです。まだまだ現在進行中ですが、人と人とのつながりの中で支えられていることを彼は強く感じています。糧となり、そして「変わる」ことを続けていこう。研修本当にありがとうございました。感謝の気持ちでいっぱいです。(高2Y)

